

第三次湯河原町子ども読書活動推進計画（案）のパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの結果について

平成 29 年 4 月 1 日から実施予定の「第三次湯河原町子ども読書活動推進計画（案）」について、次のとおり町民の皆さんへ広く意見を募集しました。

- (1) 実施期間 平成 28 年 12 月 20 日（水）～平成 29 年 1 月 20 日（金）
- (2) 周知方法 町ホームページ、町広報、地方紙（相豆新聞・湯河原新聞）へ掲載
- (3) 応募資格 町内在住、在勤または在学の人（保護者を含む。）
- (4) 公表場所 町立図書館、教育センター、町役場住民ホール、駅前観光案内所、町ホームページ
- (5) 提出方法 町立図書館へ持参または郵送、閲覧場所設置の意見箱へ投函、FAX、Eメールなど
- (6) 募集結果 ご意見提出人数 4 人

項 目	ご 意 見	町 教 育 委 員 会 の 考 え 方	反映状況
<p><取組の重点> 学校図書館の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年度より念願の学校司書が 1 名配置されたことにより、各学校図書室の環境整備が一段と進んだことは明らかだと思います。しかしながら、ひとりの司書が 4 校を掛けもち、それも、1 日 8 時間の勤務ではない状態では、<子どもと本を結び付ける>という司書本来の仕事までは手が届いていないことも無理からぬ現実です。理想としては、各校 1 名の配置が望まれますが、段階的にと考えると、第三次計画では、5 年間あるわけですから、2 名（中学校 1 名、小学校 1 名）配置までは考えていただきたいと思います。具体的には、P 6 の（1）学校図書館の活性化の最後の文章で、「・・・学校司書の役割、有効性について教職員・保護者が理解を深めるよう働きかけると共に、小学校、中学校 1 名ずつの配置を目指します」程度まで踏み込んでいただければと考えます。 ・昨年学校に司書が配備され、学校図書室は大変整備されました。しかし、4 校に 1 名では、図書の整理だけに終わってしまい、児童・生徒の学習活動を支援するには手が足りないと思います。「各校 1 名配備」またはそれに向けて努力するという案に変更して下さい。子どもが「本を好きになる！！」という点では、学校での経験が何かと必要と考えます。 ・日頃の読書活動のためのご努力に感謝しています。子どもたちにとって身近にある学校の図書室の活用による効果は大きいと思います。町立図書館の司書の方が関わって学校の図書室の整備等をしてくださったときは図書室がとてもあたたかい居心地のよいものに感じられました。また、図書館司書がいらしてから、子どもの興味を引く掲示物などが貼られ、今までただ本のある空間だった図書室が息づき、子どもたちをいざなっているように感じました。けれど、たった一人で町内の学校を回るのは無理があります。計画に掲げられた選書能力を伸ばすことや情報提供をするためには、 	<p>現在は、学校司書を 1 名配置し、町内の小、中学校を曜日ごとに巡回しています。ご意見のように学校司書の役割、有効性は理解しておりますが、人事、予算に関連する事項であるため、引き続き充実に向け、検討してまいります。</p>	<p>参 考</p>

	<p>司書が子どもに大いに関わらなければなりません。相談相手もなく、司書教諭、図書担当の先生、ボランティアの方々との連携のための時間もない実情は、せっかくの人材を有効に生かせません。「うちどくブック」その他素晴らしいものが出来上がっています。それをどう活用するか、ボランティアさんが読書推進を十分理解して、活動できるか、そういう実践的な推進をするためにも、学校司書の複数配置をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4校で1名の学校司書ではかなり難しいのではないかと思います。現行の限られた就業時間と就業日数では不可能では。人員増もしくは時間数を増やしていく。もちろん、今すぐには予算の関係でムリといわれればそれまでですが、5カ年計画ですので、最後の年にはメドがつく位にならないものではないでしょうか。 		
<p><具体的な方策> イ 小、中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書指導を中心となってすすめる方の打ち合わせ、活動の時間をきちんと確保できるような体制作りをお願いしたいと思います。細やかな指導をするには、事前の準備から事後の処理まで、かなりの時間と労力が必要と思われると思います。学校全体で取り組んでいる姿勢が感じられる日が一日でも早く来るように、今でもしっかりできている学校もあるかとは思いますが、全町で誰もが納得できる日が来ることを楽しみに待っています。 	<p>町内各校の司書教諭、図書担当教諭及び学校司書と連携を図り、学校支援ボランティア等も交え、情報交換を密にし、取り組んでまいります。</p>	参 考
<p><具体的な方策> イ 小、中学校 蔵書の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の確保をよろしくお願いします。 	<p>今後も予算確保に努め、蔵書の充実を図ってまいります。</p>	参 考
<p><具体的な方策> イ 小、中学校 研修会等に参加する機会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小、中学校の教諭や学校司書が読書に関する研修会等に参加する機会を増やしますの一項を入れたことは、素晴らしいです。 ・ 研修会に参加する機会を確実に増やしてください。他市町村、県の取組を知る機会が公的に設けられたら有り難いです。 	<p>県や他市町村と情報共有を図るため、研修等の機会が増えるよう、学校と調整してまいります。</p>	参 考